

# 2014年9月期決算説明会



株式会社アサカ理研

2014年11月26日

## 本日のポイント

- **2014年9月期業績：売上減、営業・経常赤字、最終黒字**
  - ・取引形態の変更による売上高減少
  - ・大規模研究開発投資による営業・経常赤字
  - ・補助金収入による最終黒字
- **2015年9月期業績予想**
  - ・売上高は微増
  - ・投資一巡により営業・経常黒字化
- **これからの経営戦略について**
  - ・レアメタル・レアアース事業の事業化
  - ・海外子会社の事業拡大

# 目次

- 第一部2014年9月期決算実績
- 第二部2015年9月期業績予想
- 第三部これからの経営戦略について

## ■ 前期比「減収」「減益」

### ■ 売上高変動の主要因

- (減少要因) 貴金属価格の下落
- (減少要因) 受託加工取引の割合増
- (増加要因) 貴金属取扱量の増加
- (増加要因) 新規事業の拡大

➡ 減収

### ■ 利益変動の主要因

- 貴金属価格の下落
- 製品構成の変化
- 研究開発費の増加
- 営業費用の増加

➡ 減益

### ■ 事業構造転換に向けた取り組み

- いわき工場(研究開発センター)竣工、実証試験に成功

# 当期の事業環境

## ■ 国内景気

- 経済・金融政策による円高是正から円安進行
- 景況感はゆるやかに回復も不透明感増す

## ■ 電子部品・デバイス工業

- モバイル情報端末の普及、車載電子機器の増加
- 国内の生産活動は低調
- 貴金属使用量の減少

## ■ 金属価格

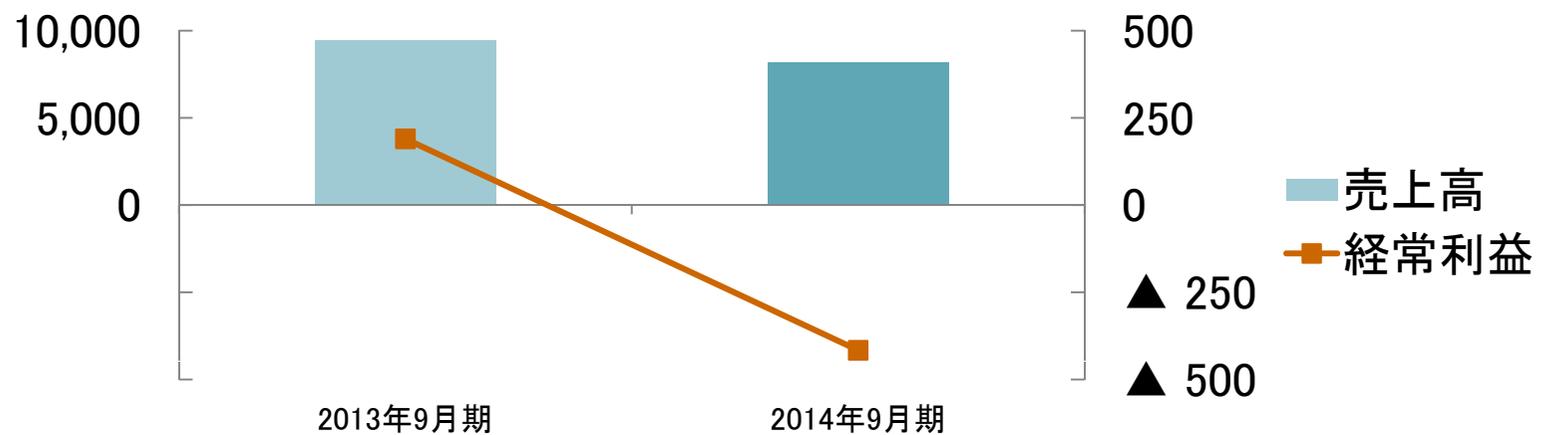
- 金:ドルベースの下落を受け、前期比で大きく下げる
- 銅:平均価格は前期より高い

## 当期の取り組み

- **レアメタル・レアアースに関する大規模技術開発投資**
  - 福島県いわき市に研究開発拠点を新設
  - 新しい溶媒抽出技術であるエマルション・フロー法
  - 経産省、福島県の補助金を活用
  - 当期で建屋の建設完了、実証試験を開始
  
- **海外も含めた新市場の開拓**
  - マレーシアTWINKLE METAL社(現ASAKARIKEN(M))の買収
  - 新規事業の拡大

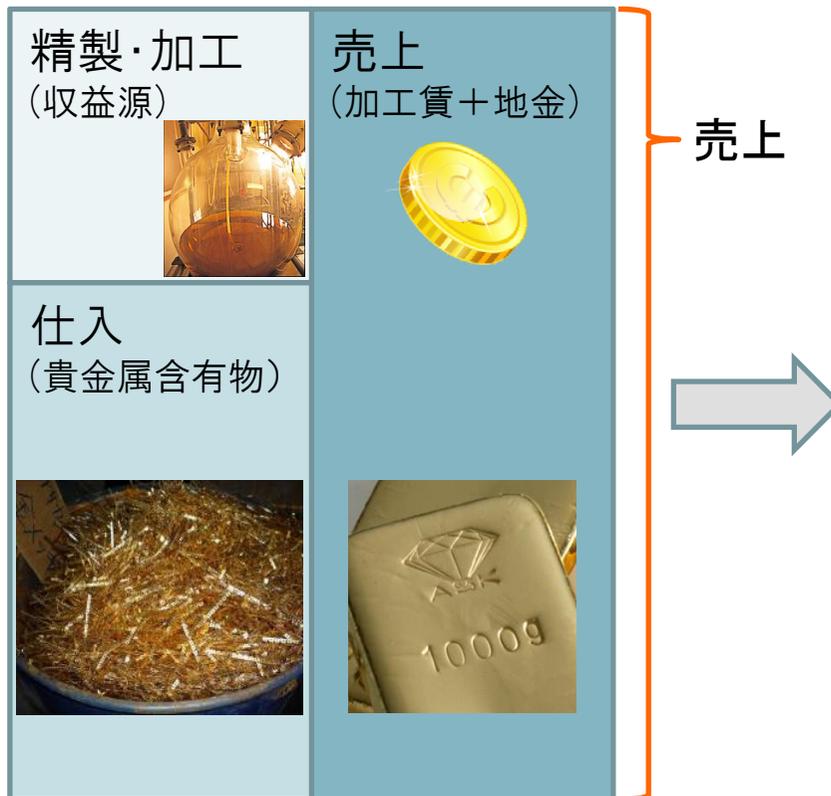
# 決算ハイライト

	2013年9月期		2014年9月期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前年同期比	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	9,456	<b>8,189</b>	▲ 1,266	▲ 13.4
売上総利益	1,511	<b>1,212</b>	▲ 299	▲ 19.8
営業利益	203	<b>▲ 402</b>	▲ 606	-
経常利益	190	<b>▲ 416</b>	▲ 607	-
純利益	116	<b>26</b>	▲ 90	▲ 77.5

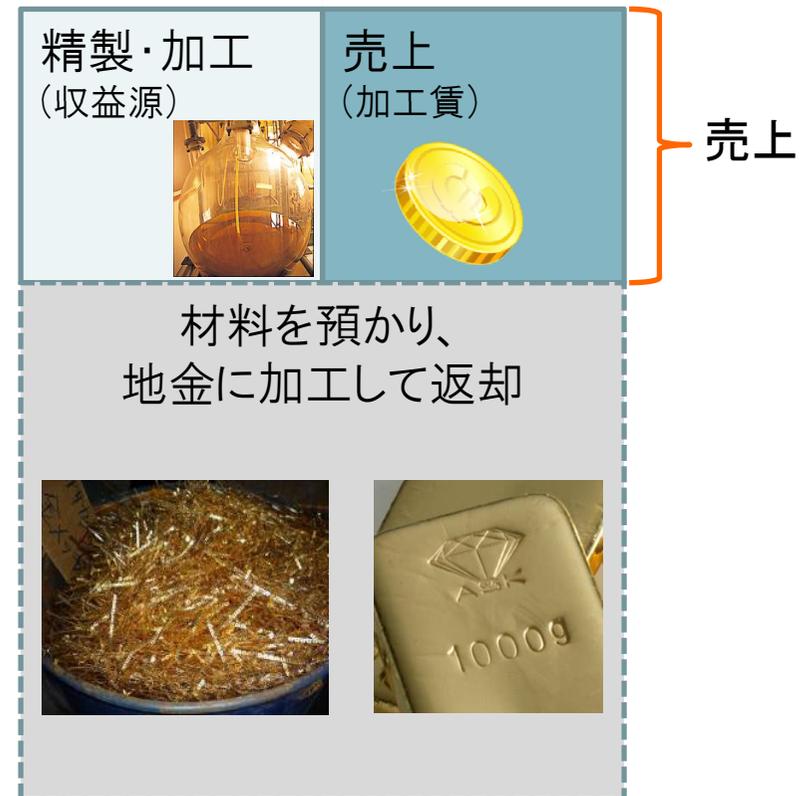


# 受託加工取引について

## ■ 売買取引



## ■ 受託加工取引

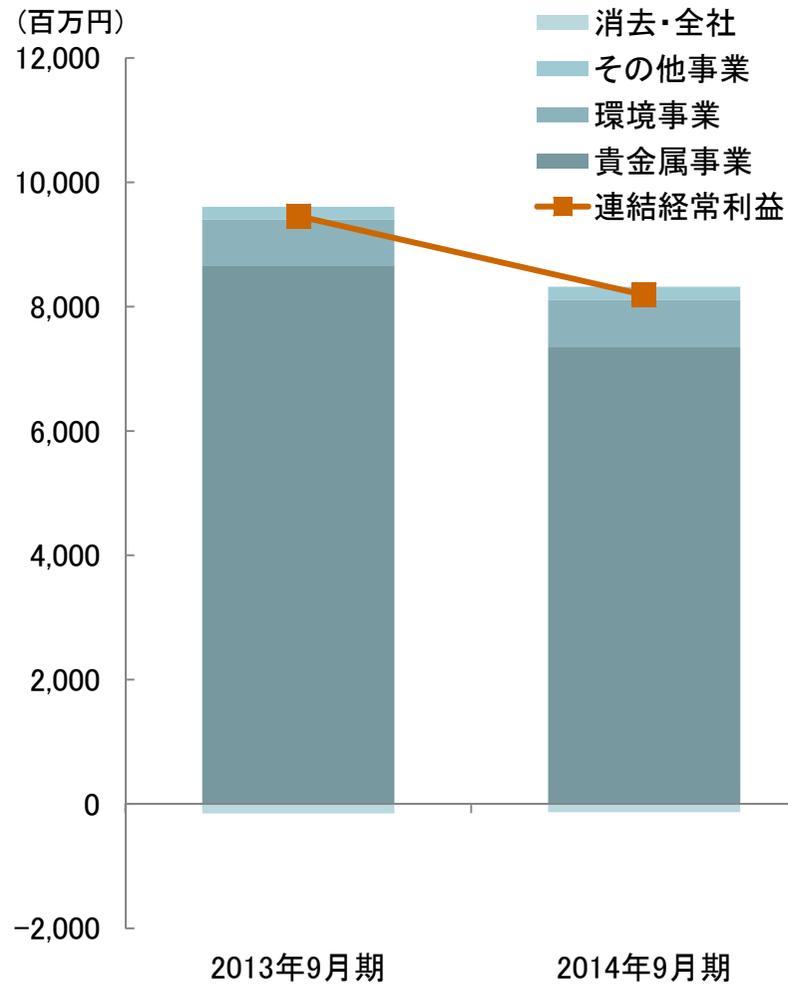


## セグメント別業績①

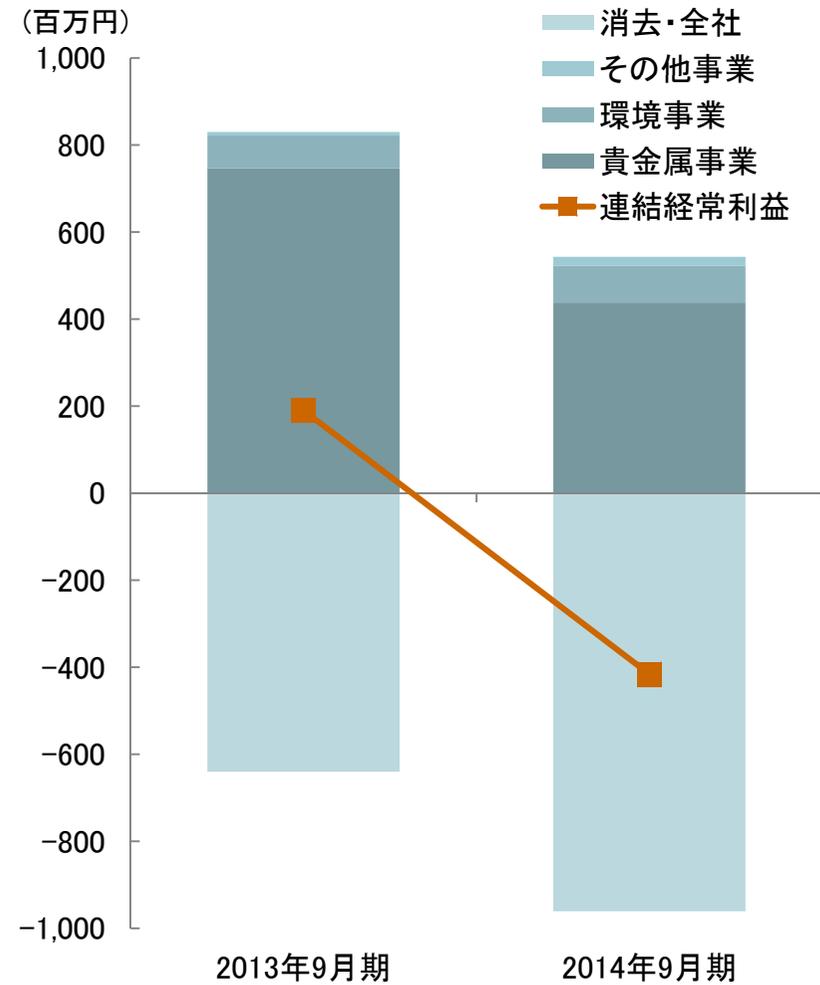
	2013年9月期		2014年9月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連結売上高	9,456		<b>8,189</b>		▲ 1,266	▲ 13.4
貴金属事業	8,651	90.0	<b>7,356</b>	88.4	▲ 1,294	▲ 15.0
環境事業	750	7.8	<b>751</b>	9.0	0	0.1
その他	207	2.2	<b>214</b>	2.6	7	3.5
計	9,608	100.0	<b>8,322</b>	100.0	▲ 1,286	▲ 13.4
消去	▲ 152		▲ 132		0	▲ 12.9
セグメント利益	190		▲ 416		▲ 607	-
貴金属事業	747	89.9	<b>438</b>	80.5	▲ 308	▲ 41.3
環境事業	75	9.0	<b>85</b>	15.7	10	13.9
その他	8	1.1	<b>20</b>	3.8	11	133.1
計	830	100.0	<b>544</b>	100.0	▲ 286	▲ 34.4
全社費用	▲ 640		▲ 961		▲ 320	-

# セグメント別業績②

## 売上高

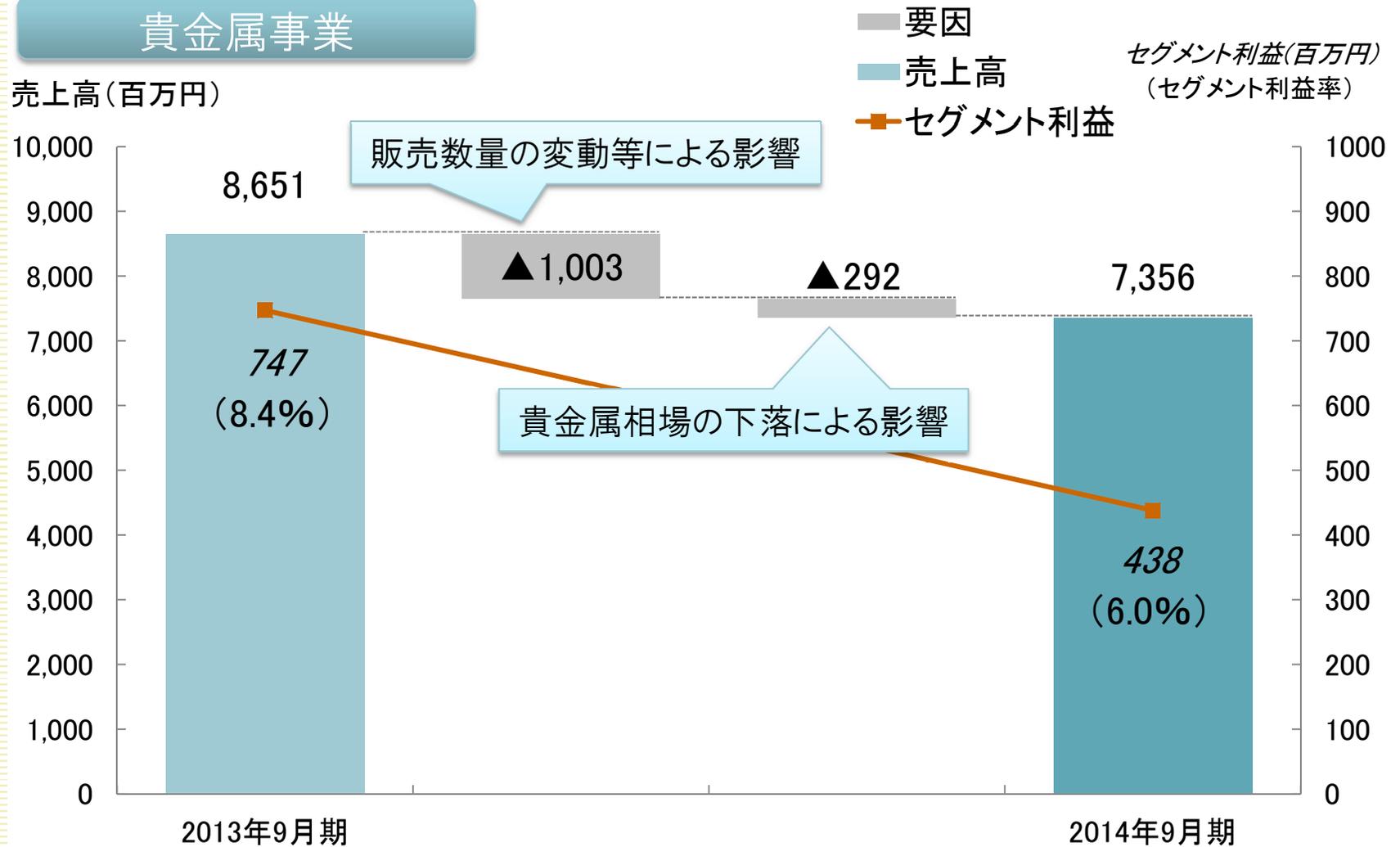


## 経常利益



# セグメント別業績③

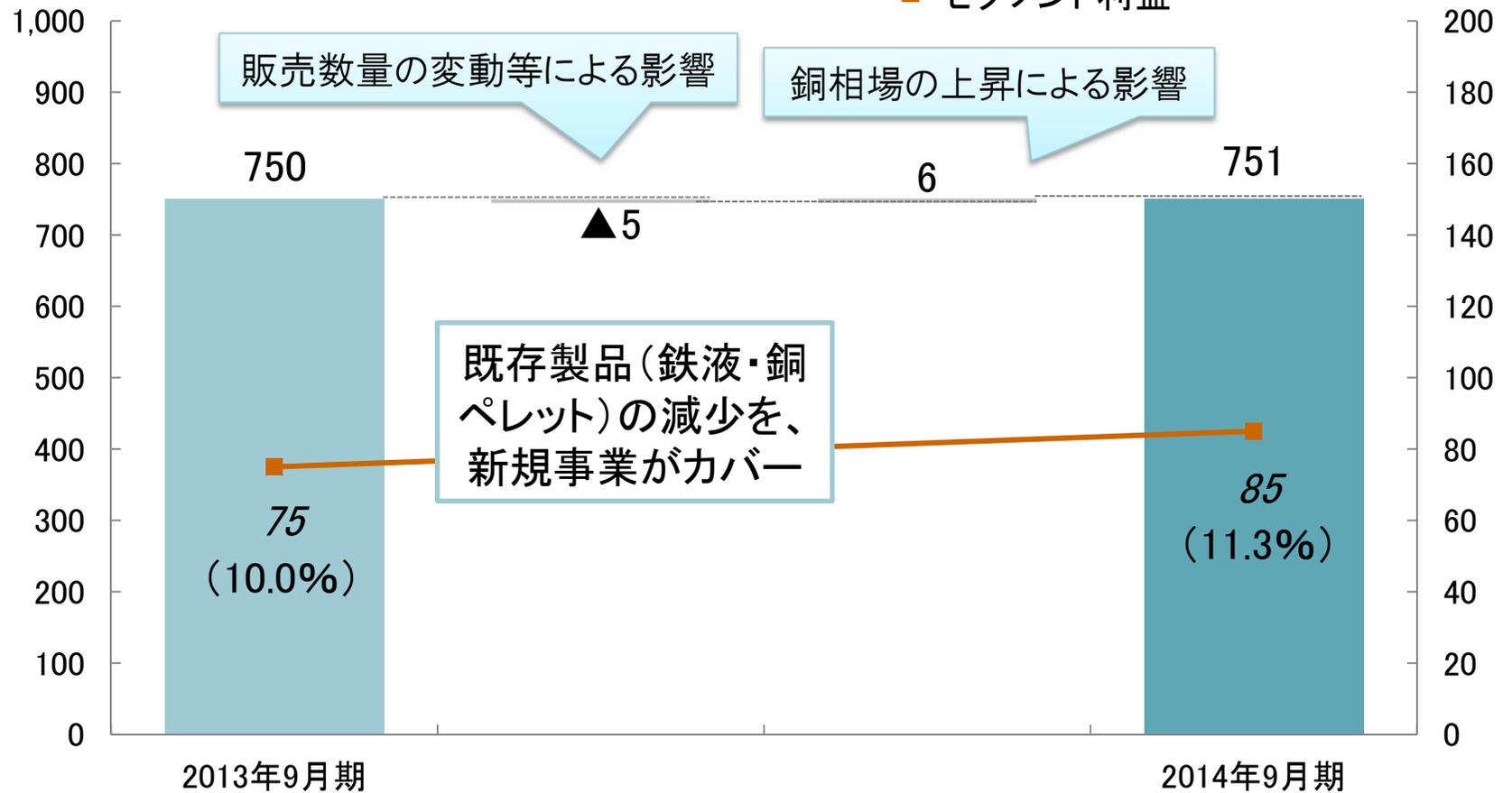
## 貴金属事業



# セグメント別業績④

## 環境事業

売上高(百万円)



## 連結損益の状況

	2013年9月期		2014年9月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	9,456	100.0	<b>8,189</b>	100.0	▲1,266	▲13.4
売上原価	7,944	84.0	<b>6,977</b>	85.2	▲966	▲12.2
売上総利益	1,511	16.0	<b>1,212</b>	14.8	▲299	▲19.8
販管費	1,308	13.8	<b>1,614</b>	19.7	306	23.4
営業利益	203	2.2	<b>▲402</b>	▲4.9	▲606	-
営業外収益	28	0.3	<b>27</b>	0.3	▲1	▲5.0
営業外費用	41	0.4	<b>41</b>	0.5	-	▲1.7
経常利益	190	2.0	<b>▲416</b>	▲5.1	▲607	-
特別利益	-	0.0	<b>446</b>	5.5	446	-
特別損失	0	0.0	<b>1</b>	0.0	0	105.2
純利益	116	1.2	<b>26</b>	0.3	▲90	▲77.5

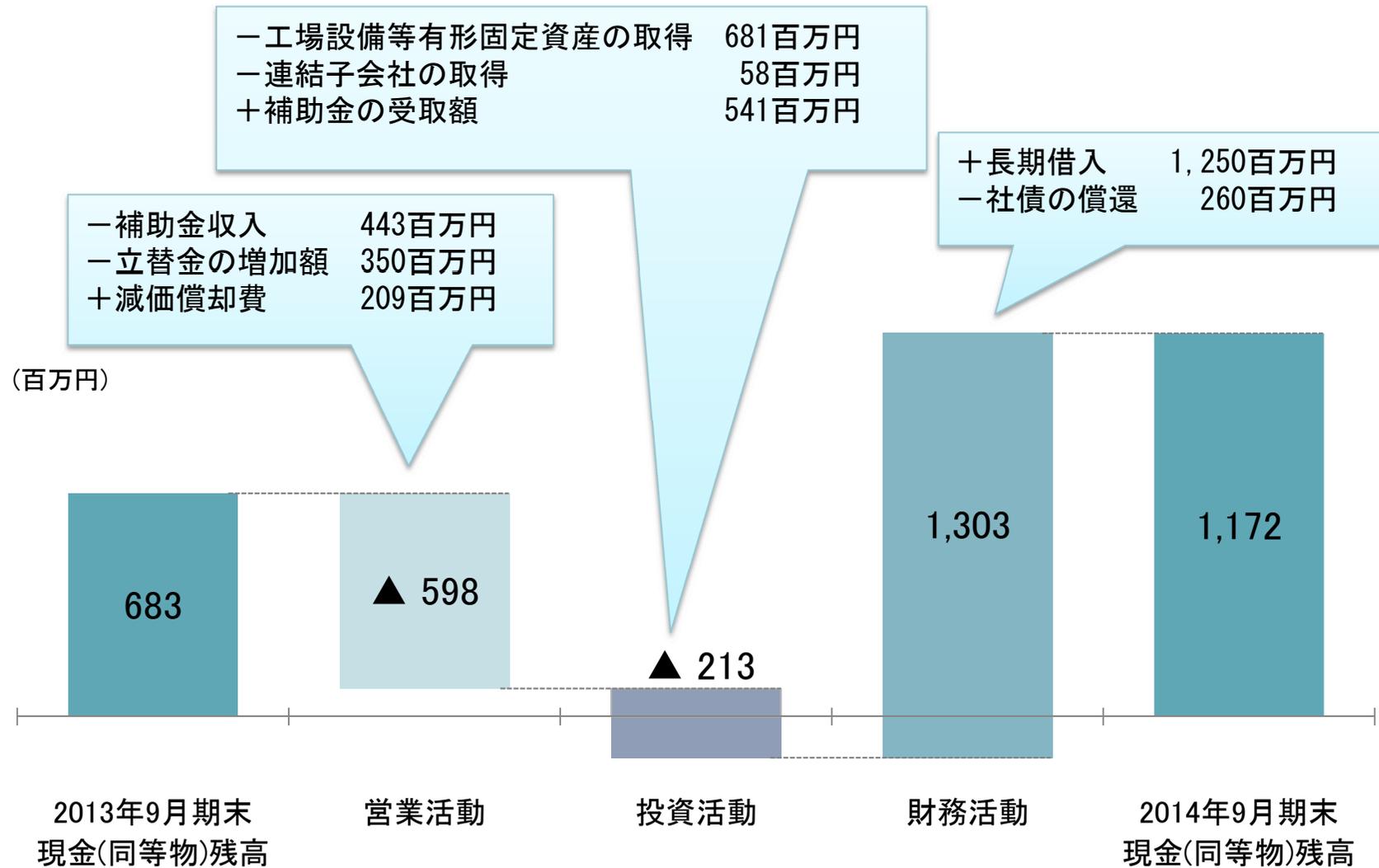
## 連結財務の状況

		2013年9月期末		2014年9月期末		前年同期比	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
資	流動資産	2,781	54.2	<b>3,471</b>	52.4	689	24.8
	固定資産	2,350	45.8	<b>3,150</b>	47.6	800	34.0
資産合計		5,132	100.0	<b>6,621</b>	100.0	1,489	29.0
負	流動負債	1,712	33.4	<b>1,704</b>	25.7	▲ 8	▲ 0.5
	固定負債	1,220	0.0	<b>2,706</b>	0.0	1,485	121.7
	負債合計	2,933	57.2	<b>4,410</b>	66.6	1,476	50.3
純資産合計		2,198	0.0	<b>2,210</b>	0.0	12	0.6
負債純資産合計		5,132	100.0	<b>6,621</b>	100.0	1,489	29.0

### 増減理由

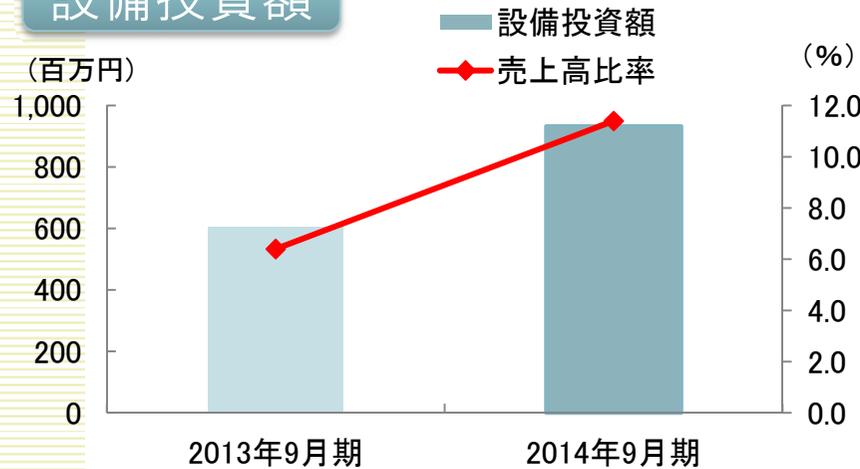
- 資産合計                    +1,489百万円                    **建物及び構築物+766、現金及び預金+489**
- 負債合計                    +1,476百万円                    **借入金+1,679、社債-60**
- 純資産合計                -74百万円                        **少数株主持分+23、利益剰余金-11**

# キャッシュ・フローの状況

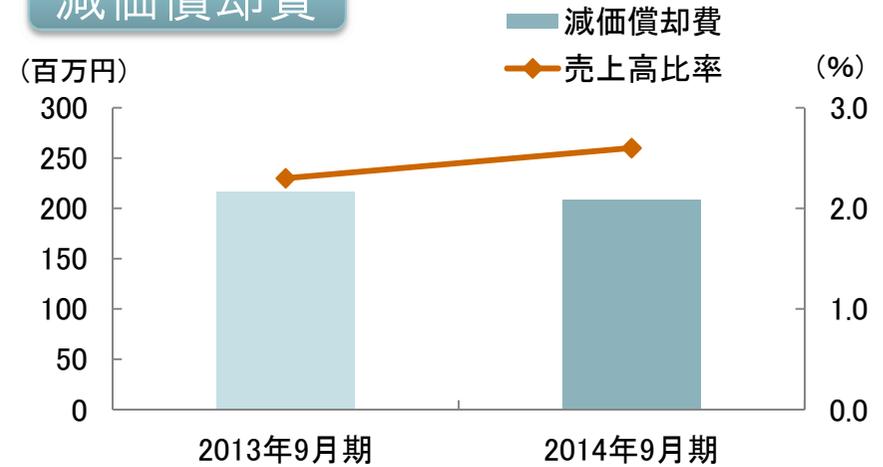


# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

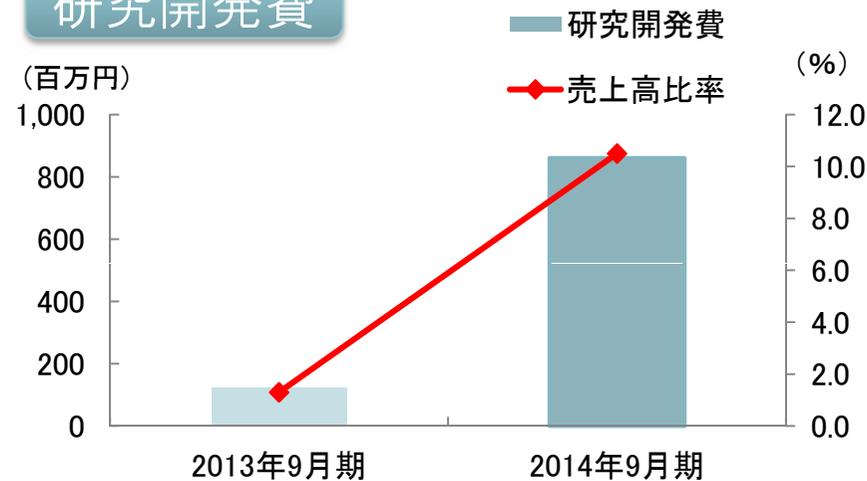
## 設備投資額



## 減価償却費



## 研究開発費



# 目次

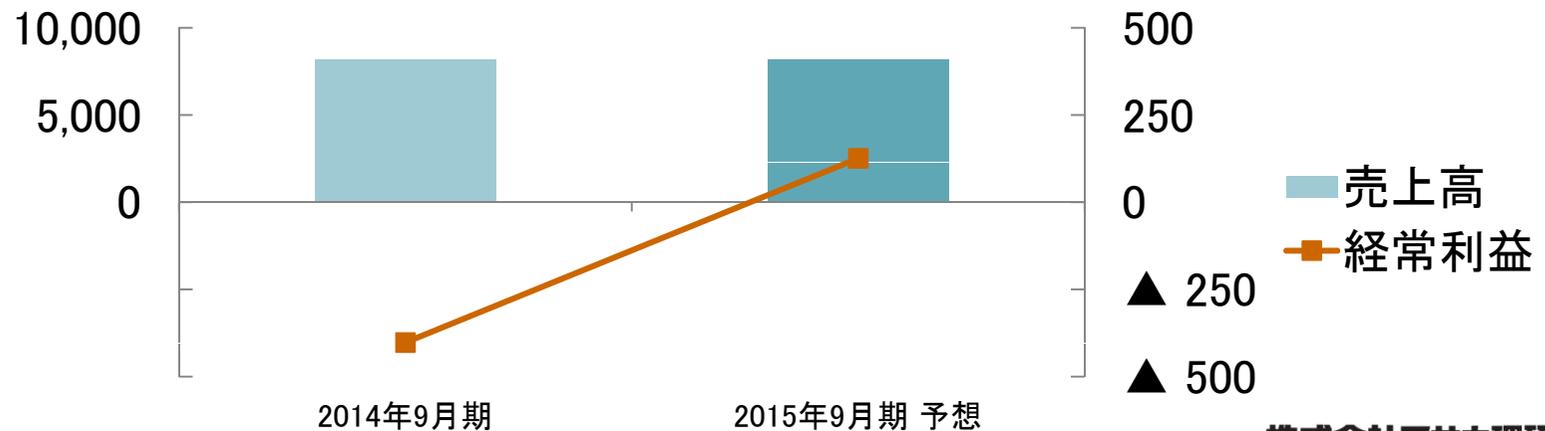
- 第一部2014年9月期決算実績
- **第二部2015年9月期業績予想**
- 第三部これからの経営戦略について

# 2015年9月期業績予想のポイント

- **売上微増、営業・経常黒字化**
  - 研究開発投資(特に設備投資)一巡
- **金属価格**
  - 米国金融緩和縮小から、相場は弱含みで推移すると見込む
  - 想定価格は金4,000円/g、銅680千円/t
- **当社の取組み**
  - いわき工場での新規事業立ち上げ
  - 既存事業の更なる効率化やコスト削減による企業体質強化

# 業績予想

	2014年9月期		2015年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,189	100.0	<b>8,200</b>	100.0	10	0.1
売上総利益	1,212	14.8	<b>1,480</b>	18.0	267	22.1
営業利益	▲ 402	▲ 4.9	<b>126</b>	1.5	529	-
経常利益	▲ 416	▲ 5.1	<b>118</b>	1.4	534	-
当期純利益	26	0.3	<b>129</b>	1.6	103	394.0

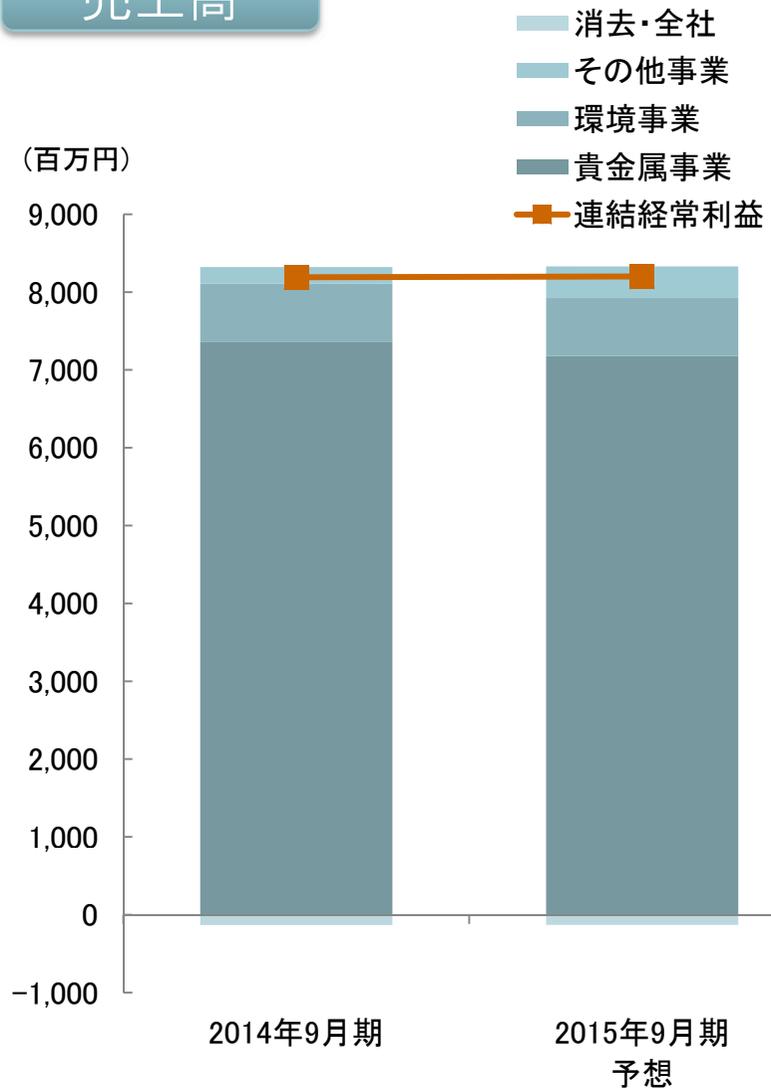


# セグメント別業績予想①

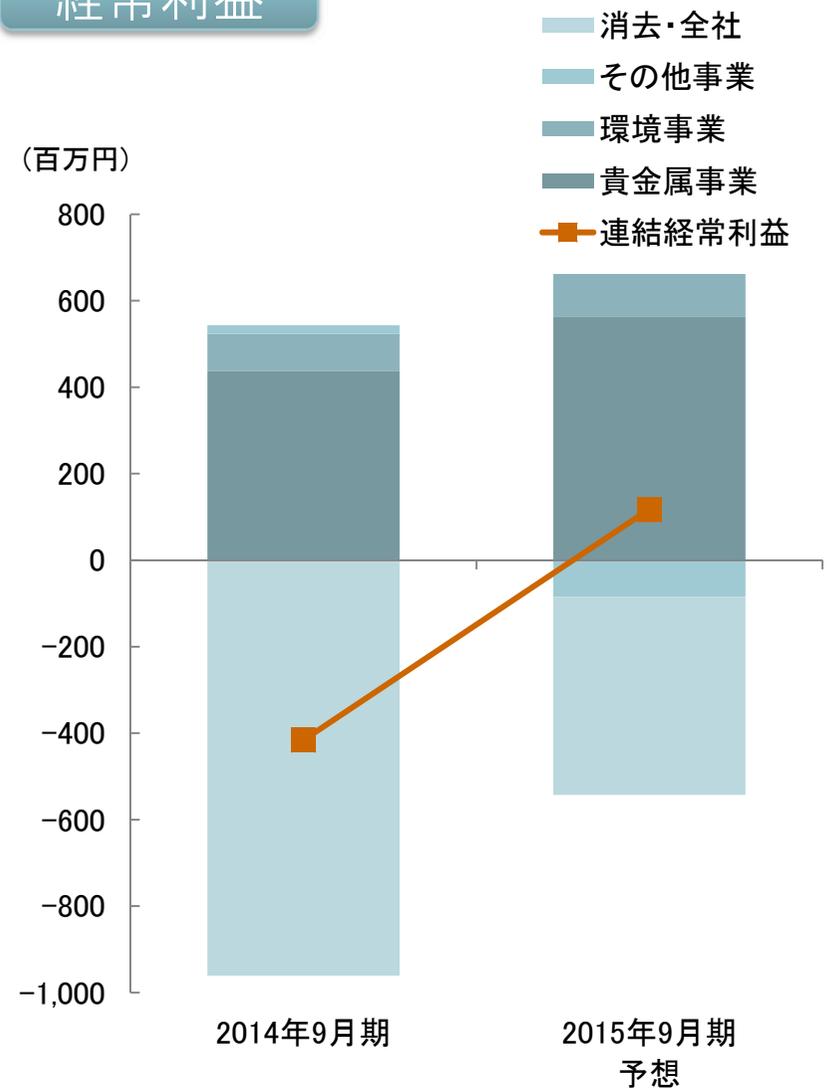
	2014年9月期		2015年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
連結売上高	8,189		<b>8,200</b>		10	0.1
貴金属事業	7,356	88.4	<b>7,178</b>	86.2	▲ 178	▲ 2.4
環境事業	751	9.0	<b>745</b>	9.0	▲ 5	▲ 0.7
その他	214	2.6	<b>407</b>	4.9	206	102.3
計	8,322	100.0	<b>8,331</b>	100.0	21	0.3
消去	▲ 132	0.0	<b>▲ 131</b>		▲ 11	-
セグメント利益	▲ 416	0.0	<b>118</b>		547	-
貴金属事業	438	80.5	<b>562</b>	97.5	124	28.3
環境事業	85	15.7	<b>100</b>	17.3	14	17.0
その他	20	3.8	<b>▲ 85</b>	▲ 14.9	▲ 93	-
計	544	100.0	<b>576</b>	100.0	45	8.5
全社費用	▲ 961	0.0	<b>▲ 458</b>		502	-

# セグメント別業績予想②

## 売上高

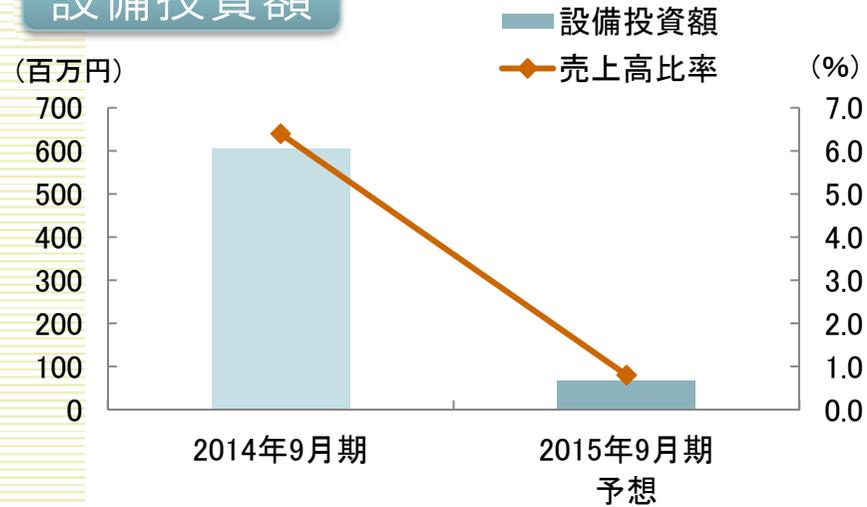


## 経常利益

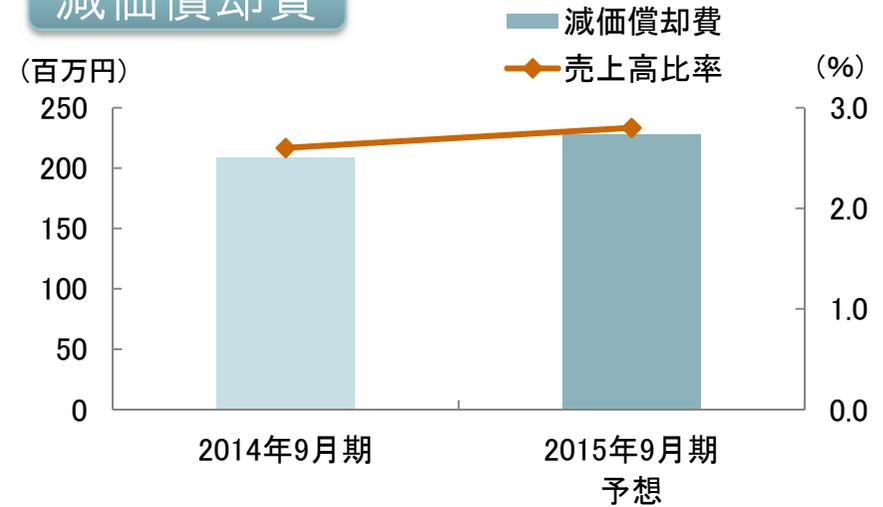


# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

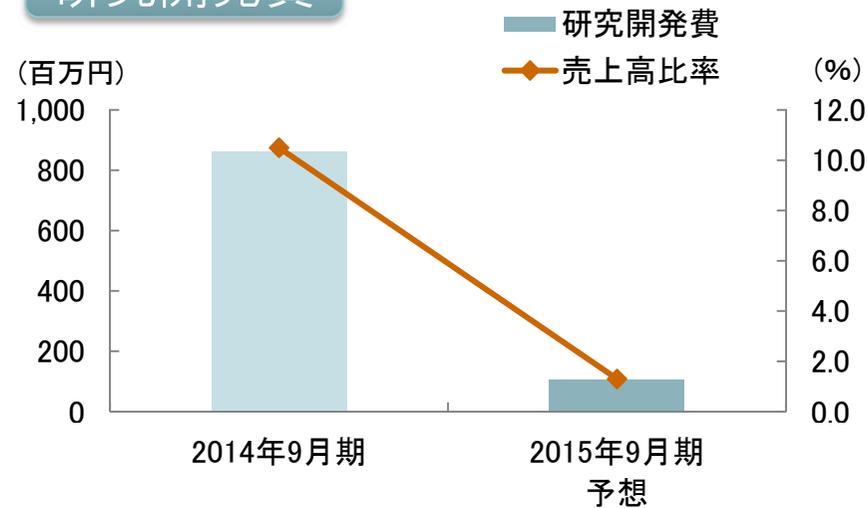
## 設備投資額



## 減価償却費



## 研究開発費



# 連結損益予想

	2014年9月期		2015年9月期 予想			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,189	100.0	<b>8,200</b>	100.0	10	0.1
売上原価	6,977	85.2	<b>6,720</b>	82.0	▲ 257	▲ 3.7
売上総利益	1,212	14.8	<b>1,480</b>	18.0	267	22.1
販管費	1,614	19.7	<b>1,353</b>	16.5	▲ 261	▲ 16.2
営業利益	▲ 402	▲ 4.9	<b>126</b>	1.5	529	-
営業外収益	27	0.3	<b>27</b>	0.3	0	1.5
営業外費用	41	0.5	<b>34</b>	0.4	▲ 6	▲ 15.5
経常利益	▲ 416	▲ 5.1	<b>118</b>	1.4	534	-
特別利益	446	5.5	<b>0</b>	0.0	▲ 446	-
特別損失	1	0.0	<b>0</b>	0.0	▲ 1	-
純利益	26	0.3	<b>129</b>	1.6	103	394.0

# 目次

- 第一部2014年9月期決算実績
- 第二部2015年9月期業績予想
- **第三部これからの経営戦略について**

## □ 当社のこれまでの業績の特徴

- ▶ 外部環境に左右されやすい
- ▶ 外部環境とは、電子部品・デバイス工業分野の生産動向や貴金属及び銅の価格変動

## □ 安定した成長に向けた新規事業開発方針

- ▶ 外部環境の影響を受けにくい事業構造を実現
- ▶ 貴金属地金の販売から、付加価値を高めた製品への移行
- ▶ 技術開発投資により技術を蓄積し、新事業の創出を推進

## □ 新規事業開発の具体的テーマ

- ▶ 当社のコア技術である湿式分離技術を活かしながら、レアメタル・レアアースに対象品目の拡大を図る
- ▶ マレーシアを足がかりに、東南アジアで都市鉱山ビジネスを展開する
- ▶ 光触媒事業の拡大を図る

## 新規事業テーマの進捗状況

事業	現状
レアメタル・レアアース回収	光学レンズ廃材からの回収実験終了し、生産技術確立に向け、引続き技術開発中
歯科材料からの貴金属回収	前期黒字化を達成、さらなる拡大を図る
光触媒事業	大手太陽電池メーカー向けが順調に拡大 福島再生可能エネルギー研究所 「被災地企業のシーズ支援プログラム」採択
海外事業	4月 マレーシアTWINKLE METAL社買収 7月 ASAKARIKEN(M)に社名変更

回収品目の拡大、高付加価値製品の開発などを模索中

# レアメタル・レアアース回収事業①

## レアメタル

※「地球上の存在量が稀であるか、技術的・経済的な理由で抽出困難な金属のうち、安定供給の確保が政策的に重要」な非鉄金属（経済産業省による定義）。31鉱種

## レアアース

※31鉱種あるレアメタルの一種で、17種類の希土類元素の総称  
セリウム[Ce]、ランタン[La]など

### 高機能材

希土類磁石  
小型モータ

電子部品

次世代自動車

携帯電話・パソコン

デジタルカメラ

テレビ

### 製品の小型軽量化・省エネ化・環境対策

液晶

小型二次電池

燃料電池

排気ガス浄化

次世代自動車

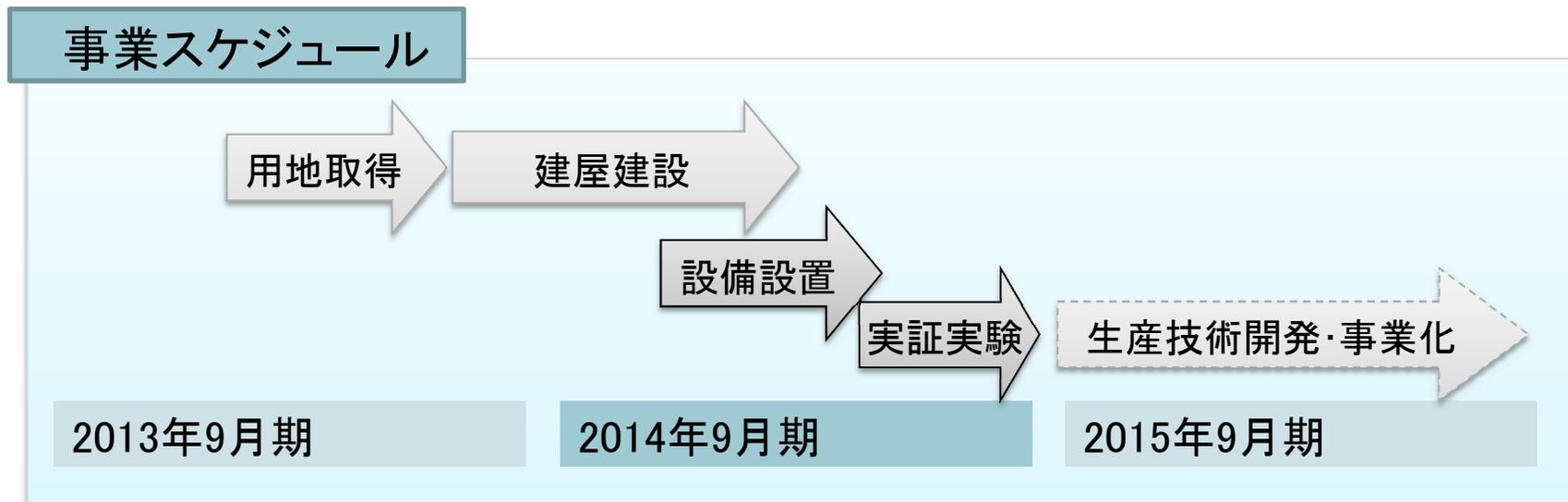
コジェネ  
レーション  
システム

## レアメタル・レアアース回収事業②

- 平成23年度「レアアース・レアメタル使用量削減・利用部品代替支援事業(二次公募)」
- 平成25年度「ふくしま産業復興企業立地補助金」に採択



研究開発投資総額約15億円に対し、約7億4千万円の補助金を受ける  
2014年8月にいわき工場を竣工、ランタン・ガドリニウムの分離試験に成功



# TWINKLE METAL社買収について

電子部品メーカー各社も進出しており、成長著しい東南アジアを中心に市場調査

→マレーシアペナン州に本社を置く

TWINKLE METAL社(現ASAKARIKEN(M))の株式を60%取得(取得価格:約37百万円)

アサカ理研  
貴金属  
回収技術



東南アジア  
地域での  
事業拡大

TWINKLE METAL社  
処理ライセンス  
現地ネットワーク





## お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせは下記までお願いいたします

株式会社アサカ理研 経営企画室

〒963-0725

福島県郡山市田村町金屋字マセロ47番地

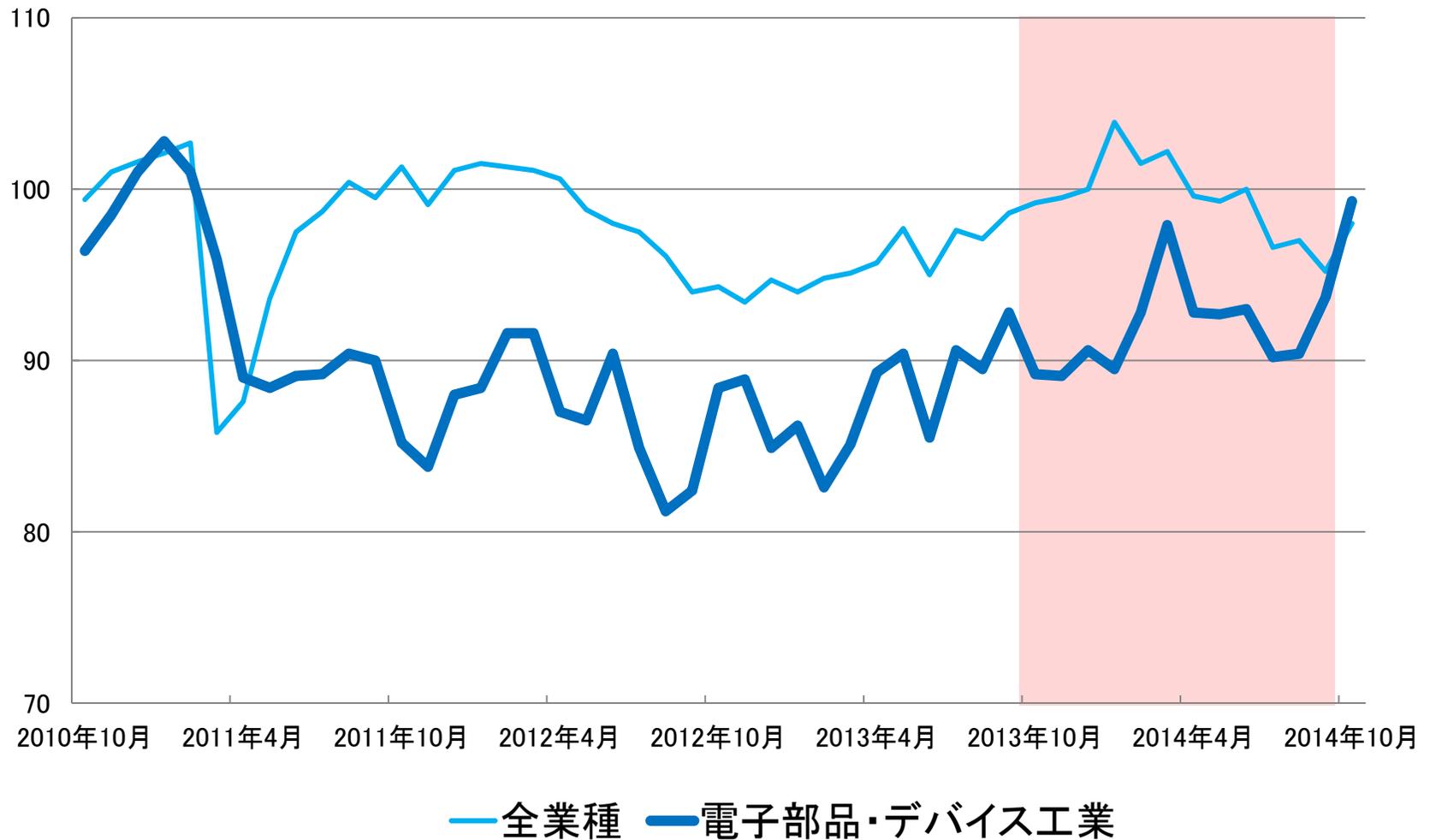
TEL:024(944)4744

FAX:024(944)4749

E-MAIL: [ir@asaka.co.jp](mailto:ir@asaka.co.jp)

URL: <http://www.asaka.co.jp/>

# 【参考】事業環境① 鈇工業生産指数

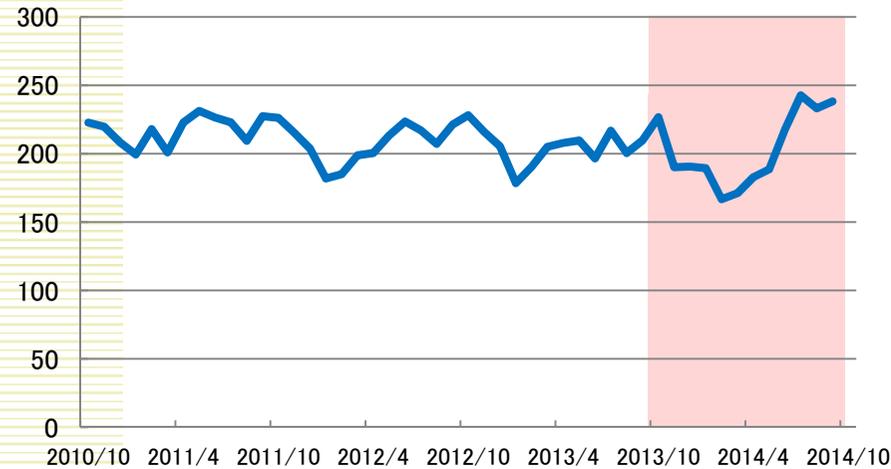




# 【参考】事業環境②業界別生産実績

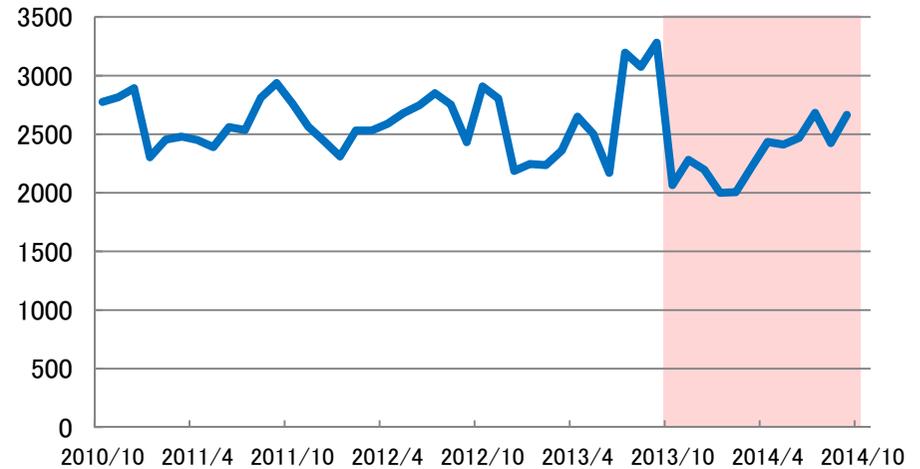
(百万個)

## 水晶デバイス



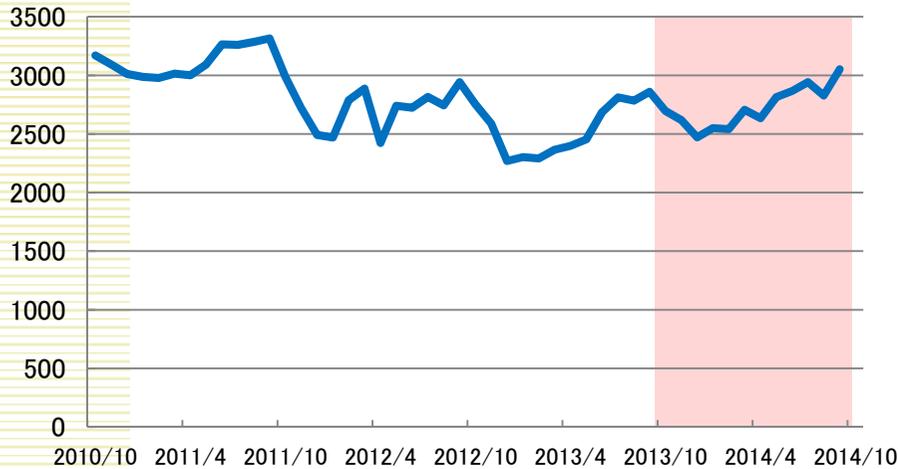
(百万個)

## コネクタ



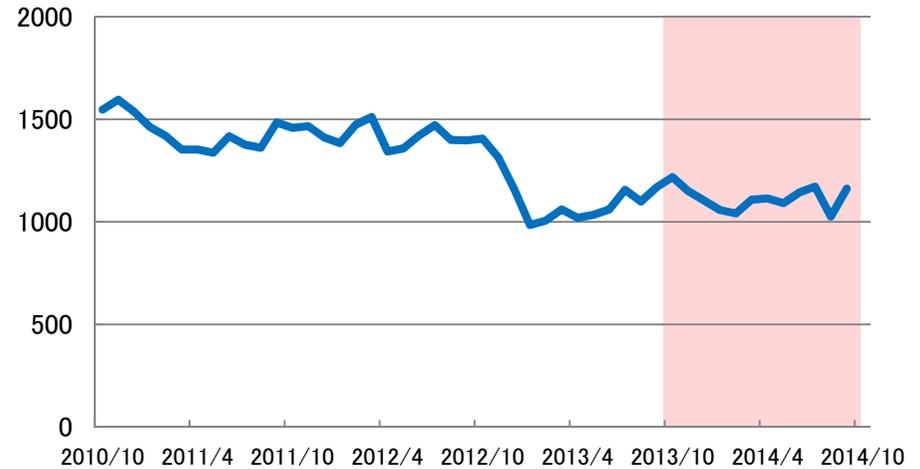
(百万個)

## 半導体集積回路

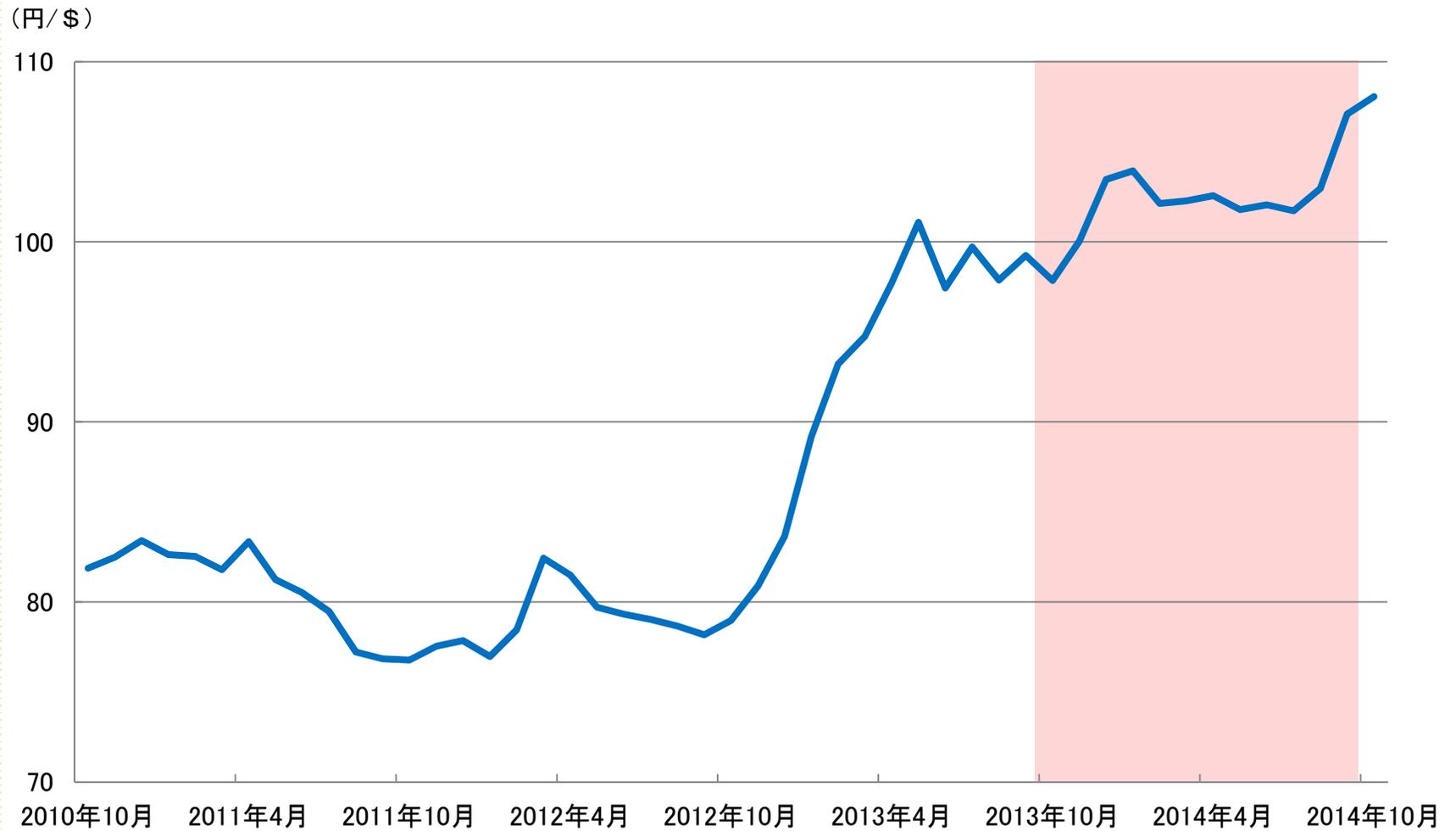


(千m<sup>2</sup>)

## 電子回路基板

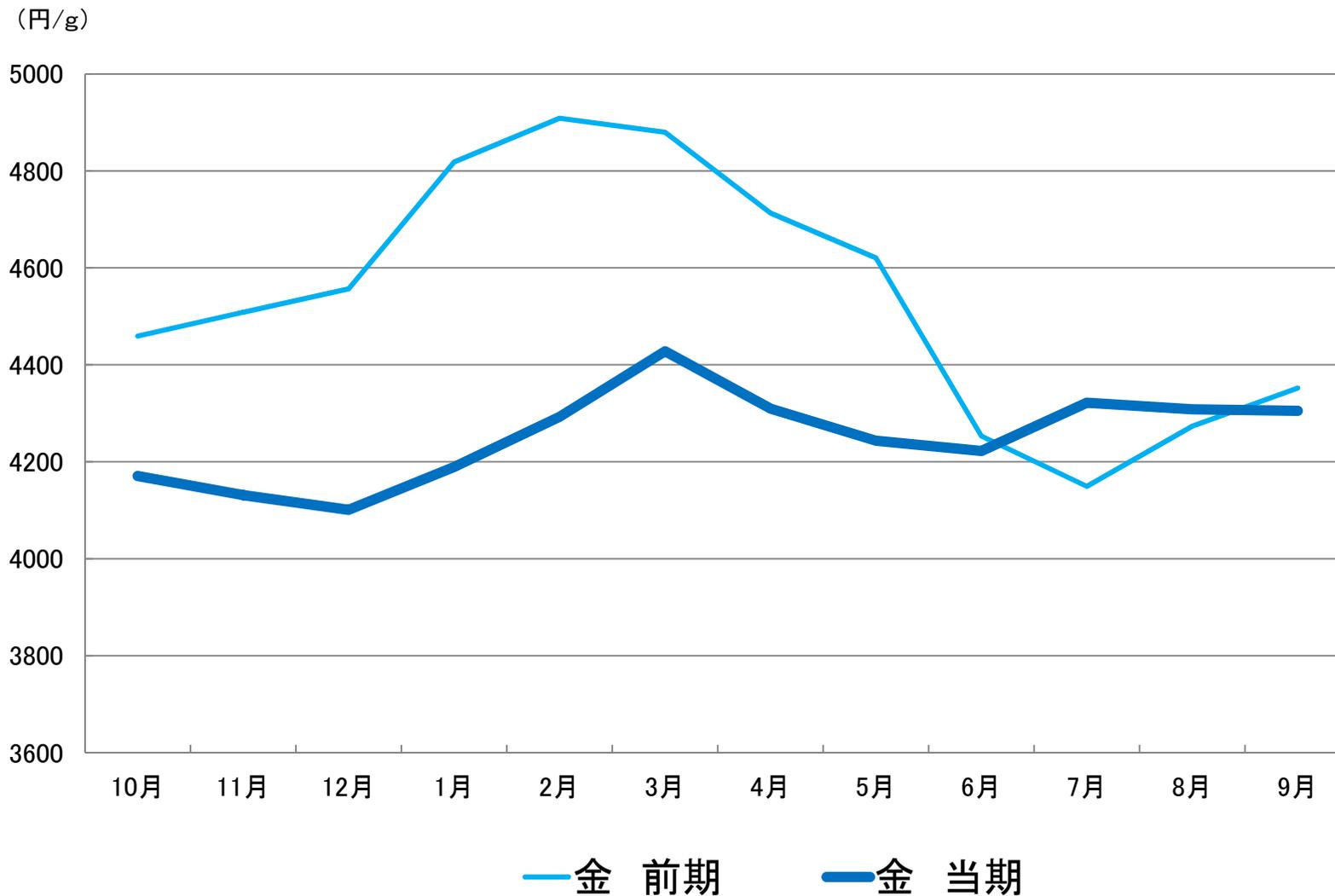


# 【参考】事業環境③為替相場

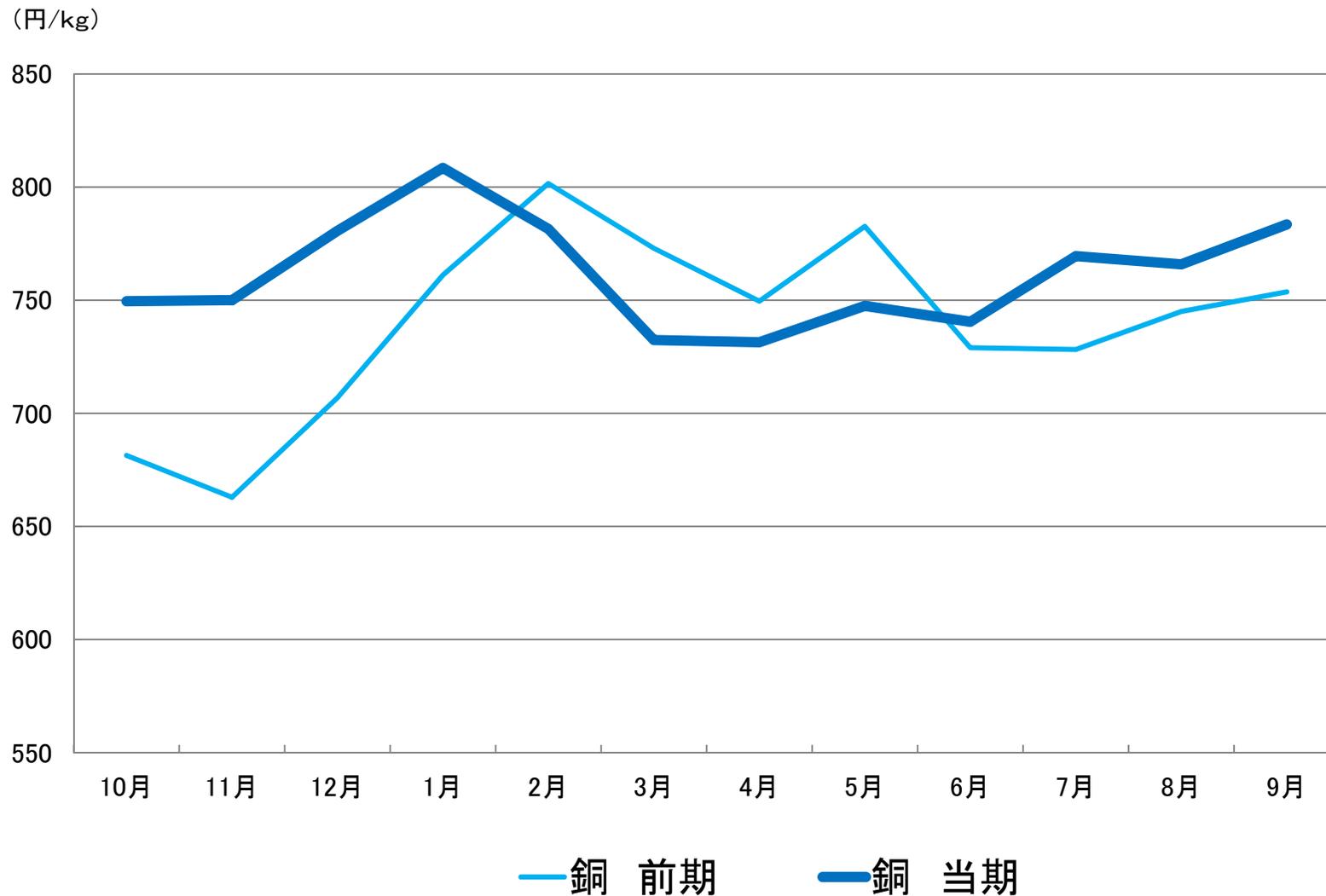


出所: 日本銀行(東京市場ドル・円 スポット 中心相場/月中平均)

# 【参考】事業環境④金価格



# 【参考】事業環境⑤銅価格



## 本資料の取り扱いについて

- 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。